

「走れメロス」定期テスト対策練習問題①

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 「走れメロス」の作者を漢字で書きなさい。

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

メロスは激怒した。必ず、かの（ア）邪智暴虐の王を除かなければならぬと決意した。メロスは政治がわからぬ。メロスは、村の牧人である。笛を吹き、羊と遊んで暮らしてきた。けれども邪悪に対しては、人一倍に敏感であった。今日未明、メロスは村を出発し、野を越え山越え、十里離れたこのシラクスの町にやって来た。メロスには父も、母もない。女房もない。十六の、内気な妹と二人暮らしだ。この妹は、村のある律儀な一牧人を、近々花婿として迎えることになっていた。結婚式も間近なのである。メロスは、それゆえ、花嫁の衣装やら祝宴のごちそうやらを買いに、はるばる町にやって来たのだ。まず、その品々を買い集め、それから都の大路をぶらぶら歩いた。メロスには（イ）竹馬の友があった。セリヌンティウスである。今はこのシラクスの町で、石工をしている。その友を、これから訪ねてみるつもりなのだ。久しく会わなかったのだから、訪ねていくのが楽しみである。歩いているうちにメロスは、町の様子を（カ）怪しく思った。ひっそりしている。もう既に日も落ちて、町の暗いのはあたりまえだが、けれども、なんだか、夜のせいばかりではなく、町全体が、やけに寂しい。（キ）のんきなメロスも、だんだん不安になってきた。道で会った若い衆を捕まえて、何かあったのか、二年前にこの町に来たときは、夜でも皆が歌を歌って、町はにぎやかであったはずだが、と質問した。若い衆は、（ク）首を振って答えなかった。しばらく歩いて（ウ）老翁に会い、（ケ）今度はもっと語勢を強くして質問した。老翁は答えなかった。メロスは両手で老翁の体を揺すぶって質問を重ねた。老翁は、辺りを（コ）はばかり（エ）低声で、僅か答えた。

「（サ）王様は、人を殺します。」

「なぜ殺すのだ。」

「悪心を抱いているというのですが、誰もそんな、悪心をもってはおりませぬ。」

「たくさんの人を殺したのか。」



「はい、初めは王様の妹婿様を。それから、ご自身のお世継ぎを。それから、妹様を。それから、妹様のお子様を。それから、皇后様を。それから、賢臣のアレキス様を。」

「驚いた。国王は乱心か。」

「いいえ、乱心ではございませぬ。(シ) 人を信ずることができぬというのです。このごろは、臣下の心をもお疑いになり、少しく派手な暮らしをしている者には、人質一人ずつ差し出すことを命じております。ご命令を拒めば、十字架にかけられて殺されます。今日は、六人殺されました。」

聞いて、メロスは激怒した。「あきれた王だ。(ス) 生かしておけぬ。」

問2 赤線【ア】～【エ】の読み方を答えなさい。

【ア】

【イ】

【ウ】

【エ】

問3 「竹馬の友」の意味として最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：親友

イ：悪友

ウ：級友

エ：旧友

問4 下線カ「怪しく思った」のはなぜか。「～から」に続くように、文章内から書き抜いて答えなさい。

問5 下線キ「のんきなメロス」とあるが、そうとれるメロスの様子を、文章中から16字で書き抜いて答えなさい。



問6 下線ク「首を振って答えなかった」とあるが、その理由として最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：もう既に日も落ちて、早く家に帰りたかったから
- イ：村の牧人であるメロスを馬鹿にしていたから
- ウ：王について批判的なことを言うと危険だと思ったから
- エ：二年前と比べて、町の人には内気になっていたから

問7 下線ケ「今度はもっと語勢を強くして質問した」とあるが、その理由として最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：老翁だったので、耳が遠いのではと考えたから
- イ：今度こそは答えてもらおうと考えたから
- ウ：これを逃すと他には聞ける人がいないと考えたから
- エ：妹のもとへ早く帰らなくてはと焦っていたから

問8 下線コ「はばかり」の意味として最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：うかがう
- イ：遠慮する
- ウ：だます
- エ：邪魔する

問9 下線サ「王様は、人を殺します」とあるが、このことからメロスは王をどのように考えたか。文章中から6字で書き抜いて答えなさい。

問10 下線シ「人を信ずることができぬ」とあるが、王はなぜ人は信ずることができないと考えているのか。「～から」と続くように、文章中から書き抜いて答えなさい。



問 11 下線ス「生かしておけぬ」とあるが、この文章中でこれと同じ意味を持つ言葉を書き抜いて答えなさい。



「走れメロス」定期テスト対策練習問題①（解答）

問1 太宰治

問2 【ア】じゃちぼうぎやく
【ウ】ろうや

【イ】ちくばのとも
【エ】ごごえ

問3 エ

【解説】竹馬の友とは、小さい頃から遊んでいた友人のことで、幼なじみ・旧友のこと。ウの「級友」は、クラスメイトのこと。

問4 町全体が、やけに寂しい（から）

問5 笛を吹き、羊と遊んで暮らしてきた

問6 ウ

問7 イ

【解説】同じ質問を若い衆にしたものの、答えてもらえなかったので、今度こそはなんとしても答えてもらわなければ、という考えから語勢を強くした。

問8 イ

問9 邪知暴虐の王

※教科書によっては「邪知暴虐」の表記の場合があります。

問10 悪心を抱いている（から）



問 | | 除かなければならぬ

